



令和7年度特集展示（会期：7年6月17日（火）～8月17日（日））

新出薩摩塔と福岡の大陸系文物

Kyushu Historical Museum Exhibition Guide

はじめに

九州の北部に位置する福岡の地は、太古より日本列島と大陸との交流の窓口です。長い交流の歴史を映して、中国や朝鮮半島からもたらされた、たくさんの渡来文化財が、寺社や時には個人宅にまで伝わっています。この地が、人と文物が盛んに往来する、東アジアのかなめの一つだったことが実感されます。

九州と大陸渡来の文化財

大陸渡来の文化財としては早くから、仏像、仏画、工芸品などが注目されてきました。変わりどころでは、九州北部から多く出土する中国からの輸入陶磁器を用いた経筒きょうづつなどもあります。日本では永承7年(1052)に、末法まつぽうと呼ばれる暗黒時代に突入すると考えられていましたが、その末法の世を越えて仏の教えを未来に伝えるため、経筒に経典を納めて埋める経塚きょうづかが、平安時代後期に盛んに造られました。経筒の主流は銅製です。しかし九州を中心に、中国にあった宋の国に特注したと考えられる陶磁器製の経筒も、多く見つかったのです。

そして近年とくに注目されているのは、南宋なんそうや元げんから鎌倉時代にもたらされた、薩摩塔さつまつとうと称されている石塔や、南宋、元、明みんから中世の日本にもたらされた、宋風獅子そうふうしと称されている石造獅子などの石造物です。これらは福岡平野、平戸、薩摩を中心としながら、九州の西側に極端に偏って存在していることが確認されています。とくに薩摩塔については、大海を渡って日中交易に携わっていた、中国人海商たち自らの信仰に関わるものと考えられます。九州には、彼らや彼らの信仰が親しく受け容れられるような場が、各地に形成されていたようです。

福岡平野の大陸渡来石造物

福岡平野周辺地域には、薩摩塔や宋風獅子が集中して遺っています。そして、平戸や薩摩とは少し異なっ

て、ここには他にも、さまざまな種類の渡来石造物が存在していることが目を引きまします。例としては、宗像市の宗像大社むなかたたいしゃに伝わる阿弥陀経石あみだきょうせきや、福岡市箱崎の恵光院えこういんに祀られる石造十一面観音坐像まつじゅういちめんくわんのんざどうなどがあげられます。阿弥陀経石は、前面に阿弥陀如来坐像が、背面には阿弥陀経や無量寿仏説往生浄土呪が、見事な彫りであらわされているものです。十一面観音坐像は普段は拝観できないものの、開帳かいちよう時に厨子の扉が開いた向こうに坐している姿は、とても個性的で印象に残ります。これらは鎌倉時代の13世紀前半に、南宋から渡来したと考えられます。このような存在を目にするにつけ、いろいろな人がいろいろな文物をもたらし、それらを広く受け容れていたのが、往時の福岡平野の大きな特徴だったことが理解できます。

13世紀の半ば頃までは、国際交流が大層盛んであったようで、福岡平野周辺地域には、たくさんの大陸の文物がもたらされました。この地は、そのような渡来文物や国際交流の研究にとっても適した場所でもあります。昭和33年(1958)に薩摩で初めて見つかりな



首羅山遺跡 薩摩塔（西側）
南宋時代



首羅山遺跡 薩摩塔（東側）
南宋時代



太祖神社 宋風獅子
南宋時代



太祖神社 石造香炉
南宋時代



御笠川採集仏（個人蔵）
高麗時代

から、長らく謎の存在であった薩摩塔の時空が明らかにされたのも福岡平野です。平成 20 年（2008）に、久山町の首羅山遺跡にある作例が、13 世紀半ば頃に南宋からもたらされたと判明したことから、薩摩塔は大いに注目されるようになったのです。首羅山遺跡と向き合う篠栗町の若杉山の太祖神社にも、宋風獅子や香炉などの南宋時代の石造物が伝わっており、海辺や平野部のみならず、平野周縁の山々までが、祈りと交流の場になっていたことが浮かび上がってきています。

結び

この特集展示では、福岡平野周辺地域に伝わる中国から渡来した文化財を中心に紹介します。中には、日中の文化財が混在している、首羅山遺跡の山頂から見出された白山神社経塚出土遺物のような存在もあり、また、九州北西部に極端に偏って存在する、朝鮮半島からの渡来仏もあります。これらは実に多彩な交流のあり方を映して今に伝えてくれています。そして目玉は、平安時代末期に新たに開かれた国際交易港である今津から最近確認された、元時代の薩摩塔の断片です。長い交流の歴史は、蒙古襲来も乗り越えて続いたのです。これらの文化財の背後に、海を介して親しく結ばれた往時の環東シナ海世界や、国際交流の拠点としての福岡の姿を感じていただければと思います。

（学芸調査室 井形 進）



九州歴史資料館 白山神社経塚出土遺物
平安時代／宋時代



今津 薩摩塔断片（個人蔵）
元時代



編集

発行：令和 7 年 6 月 1 7 日

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒 838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834
URL <https://kyureki.jp>